

- 当社は、2024年度放出計画の第7回として、測定・確認用設備タンク（C群）ALPS処理水（約7,800m³）の海洋放出を、3月12日午後1時25分から実施しています。
- 放出期間中は、ALPS処理水（トリチウム）の希釈が適切に行われているか毎日確認することを目的に、海水で希釈後の水のトリチウム濃度を分析し、トリチウム濃度が計算上の濃度と同程度であることおよび1,500ベクレル/ℓ未満であることを確認しています。
- また、発電所から3km以内の10地点および発電所正面の10km四方内の4地点においては、海水のトリチウム濃度の分析結果を迅速に得ることを目的に、検出限界値を10ベクレル/ℓ程度に上げた分析を実施し、トリチウム濃度が放出停止判断レベル（700ベクレル/ℓ^{※1}または30ベクレル/ℓ^{※2}）および調査レベル（350ベクレル/ℓ^{※1}または20ベクレル/ℓ^{※2}）以下であることを確認しています。

※1 発電所から3km以内の10地点 ※2 発電所正面の10km四方内の4地点 <2025年3月30日までにお知らせ済み>

- 2024年度第7回のALPS処理水海洋放出は、約460m³/日の放出量で安定的に推移し、海水中のトリチウム濃度についても、当社が実施する迅速な分析の結果等から、計画的に安全に行われていることを確認しています。
- 測定・確認用設備タンク（C群）からのALPS処理水の移送が、3月29日午後7時39分に終了し、ALPS処理水移送ラインの配管内に残っている水（ALPS処理水）の、ろ過水による押し流しが、3月30日午前11時51分に終了したことをもって、2024年度第7回のALPS処理水海洋放出が完了しました（総放出水量：7,859m³、トリチウム総量：約2.4兆ベクレル）。
- 第7回放出完了をもって、2024年度の放出は計画通り完了しました。
- 3月27日にお示した2025年度ALPS処理水放出計画に基づき、ALPS処理水の安全な海洋放出を安定的に実施できるよう、引き続き、緊張感を持って取り組んでまいります。

2024年度ALPS処理水海洋放出の実績

- 2024年度は全7回の海洋放出を実施し、年間放出水量約54,999m³、年間トリチウム放出量約12.7兆ベクレルでした。
- いずれも放出の基準を満たし、計画通り安全に放出が行われたことを確認しています。

2024年度

管理番号※	放出タンク群	トリチウム濃度	放出開始	放出終了	放出量	トリチウム総量
24-1-5	C群	19万ベクレル/㍓	2024年4月19日	2024年5月7日	7,851m ³	約1.5兆ベクレル
24-2-6	A群	17万ベクレル/㍓	2024年5月17日	2024年6月4日	7,892m ³	約1.3兆ベクレル
24-3-7	B群	17万ベクレル/㍓	2024年6月28日	2024年7月16日	7,846m ³	約1.3兆ベクレル
24-4-8	C群	20万ベクレル/㍓	2024年8月7日	2024年8月25日	7,897m ³	約1.6兆ベクレル
24-5-9	A群	28万ベクレル/㍓	2024年9月26日	2024年10月14日	7,817m ³	約2.2兆ベクレル
24-6-10	B群	31万ベクレル/㍓	2024年10月17日	2024年11月4日	7,837m ³	約2.4兆ベクレル
24-7-11	C群	31万ベクレル/㍓	2025年3月12日	2025年3月30日	7,859m ³	約2.4兆ベクレル
合計					54,999m ³	約12.7兆ベクレル

※ 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。
「24-1-5」は24年度第1回放出かつ通算第5回放出を表す

【参考】2024年度ALPS処理水放出計画（1/2）

- 2024年度の放出計画は以下の通り、年間放出回数7回、年間放出水量約54,600m³、年間トリチウム放出量約14兆ベクレルを計画しております。
- 2024年度に日々発生するALPS処理水については、測定・確認用設備への移送等で空となったタンクに受け入れていきます（解体中のJ9エリア等を除く）。

管理番号※1		移送量※2	二次処理 トリチウム濃度 トリチウム総量	放出時期
24-1-5	K3エリアA/B群（測定・確認用設備 C群に移送） J4エリアL群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約4,510m ³ : 約3,240m ³	: 無 : 18万～20万 ⁸ ベクレル/リットル ※3 : 約1.5兆 ⁸ ベクレル	4～5月
24-2-6	J4エリアL群（測定・確認用設備 A群に移送） J9エリアA/B群（測定・確認用設備 A群に移送）	: 約2,030m ³ : 約5,710m ³	: 無 : 17万～19万 ⁸ ベクレル/リットル ※3 : 約1.4兆 ⁸ ベクレル	5～6月
24-3-7	J9エリアA/B群（測定・確認用設備 B群に移送） K1エリアC/D群（測定・確認用設備 B群に移送）	: 約1,800m ³ : 約5,980m ³	: 無 : 16万～18万 ⁸ ベクレル/リットル ※3 : 約1.3兆 ⁸ ベクレル	6～7月
24-4-8	K1エリアC/D群（測定・確認用設備 C群に移送） G4南エリアC群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約4,730m ³ : 約3,060m ³	: 無 : 16万～31万 ⁸ ベクレル/リットル ※3 : 約1.7兆 ⁸ ベクレル	7～8月

C群関連設備点検

次スライドへ

※1 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。「24-1-5」は24年度第1回放出かつ通算第5回放出を表す

※2 下線部は実績値を示す

※3 タンク群平均、2024年4月1日時点までの減衰を考慮した評価値

【参考】2024年度ALPS処理水放出計画（2/2）

前スライドより

管理番号※1		移送量※2		放出時期
24-5-9	G4南エリアC群（測定・確認用設備 A群に移送）	: 約6,780m ³ : 約1,000m ³	二次処理 : 無	8~9月
	G4南エリアA群（測定・確認用設備 A群に移送）		トリチウム濃度 : 30万~35万ベクレル/リットル ※3 トリチウム総量 : 約2.4兆ベクレル	
A群関連設備点検				
24-6-10	G4南エリアA群（測定・確認用設備 B群に移送）	: 約7,770m ³	二次処理 : 無 トリチウム濃度 : 34万~35万ベクレル/リットル ※3 トリチウム総量 : 約2.7兆ベクレル	9~10月
点検停止（測定・確認用設備 B群タンクの本格点検含む）				
24-7-11	G4南エリアA群（測定・確認用設備 C群に移送）	: 約1,130m ³ : 約4,270m ³	二次処理 : 無	2~3月
	G4南エリアB群（測定・確認用設備 C群に移送）		トリチウム濃度 : 34万~40万ベクレル/リットル ※3 トリチウム総量 : 約3.0兆ベクレル	

➡ 2024年度放出トリチウム総量 : 約14兆ベクレル

※1 管理番号は年度-年度毎の放出回数-通算放出回数の順で数を並べたもの。「24-1-5」は24年度第1回放出かつ通算第5回放出を表す

※2 下線部は実績値を示す

※3 タンク群平均、2024年4月1日時点までの減衰を考慮した評価値

【参考】迅速に結果を得る測定のモニタリング計画

- 当社は、2023年8月の放出開始以降、下図に示す枠内の14地点で、迅速に海水中のトリチウム濃度を確認するためのモニタリング（検出限界値10ベクレル/ℓ程度）を実施しております。なお、「放出停止判断レベル（図中記載）」を超えた場合には、海洋への放出を停止します。

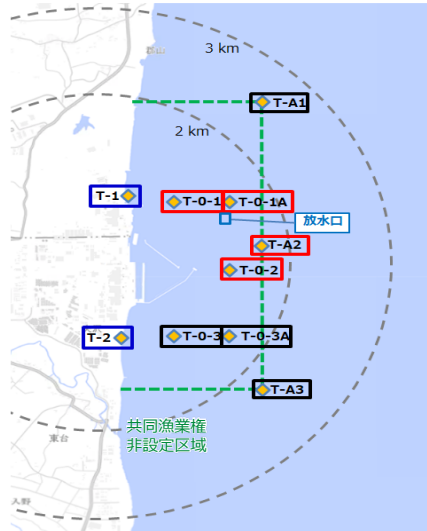


図1 試料採取地点 発電所から3km以内（放水口付近）

□ □ □: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（10地点）
指標（放出停止判断レベル）700ベクレル/ℓ

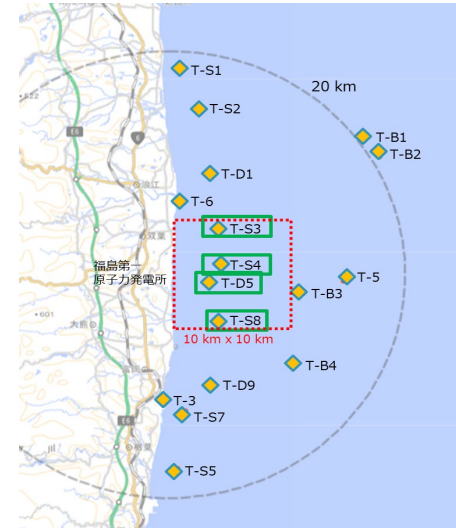


図2 試料採取地点 発電所正面の10km四方内

□: 迅速に結果を得るモニタリング対象地点（4地点）
指標（放出停止判断レベル）30ベクレル/ℓ

	【図1】発電所から3km以内（放水口付近）		【図2】発電所正面の10km四方内
	放水口周辺4地点 □ □ □ □	その他6地点 □ □ □ □ □ □	4地点 □ □ □ □
放出期間中および 放出終了日から1週間	毎日※6	週2回※7	T-D5:週1回 T-S3,T-S4,T-S8 : 月1回
放出停止期間中 (放出終了日から1週間を除く)	週1回※7	月1回※7	

※6 放出期間中に荒天のため連続して2日間欠測し、翌日（3日目）も欠測が予測される場合には、3日目はT-1、T-2の迅速に結果を得る測定を行う
 ※7 2023年8月の放出開始以降、毎日モニタリングを実施してきましたが、放出中の実績等を踏まえ、2023年12月26日からモニタリング計画を変更した
[\(2023年12月25日公表\)](#)